

エヌ書店

成人向

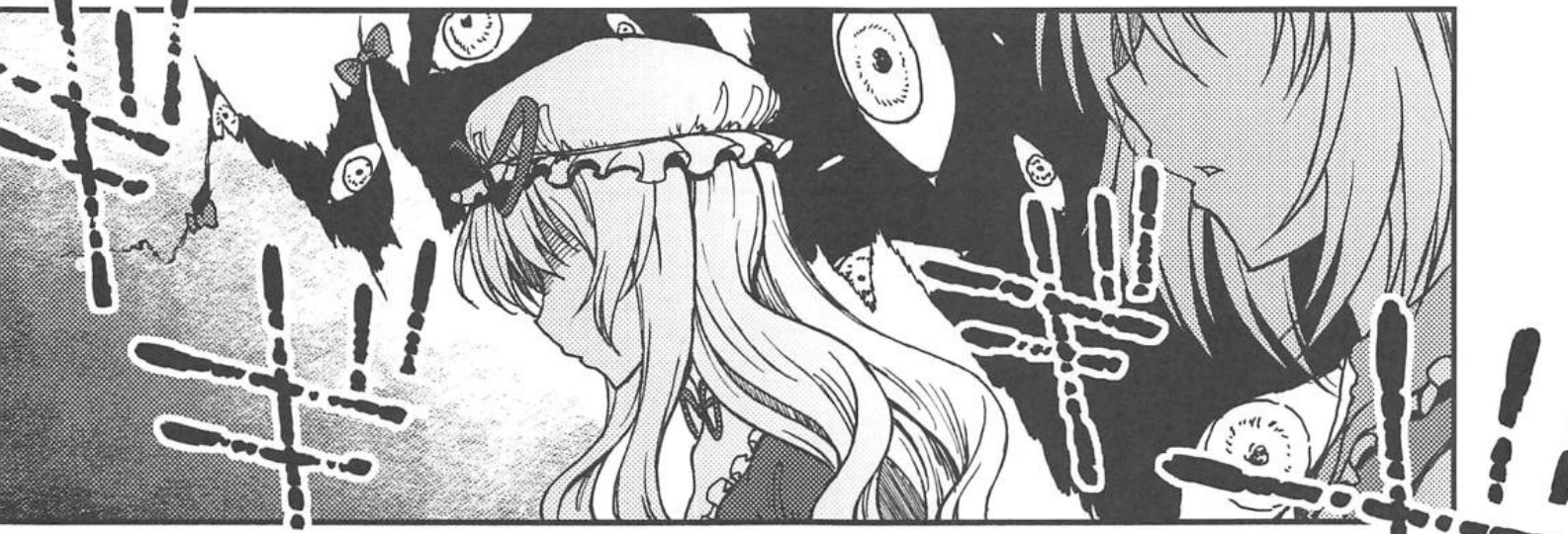
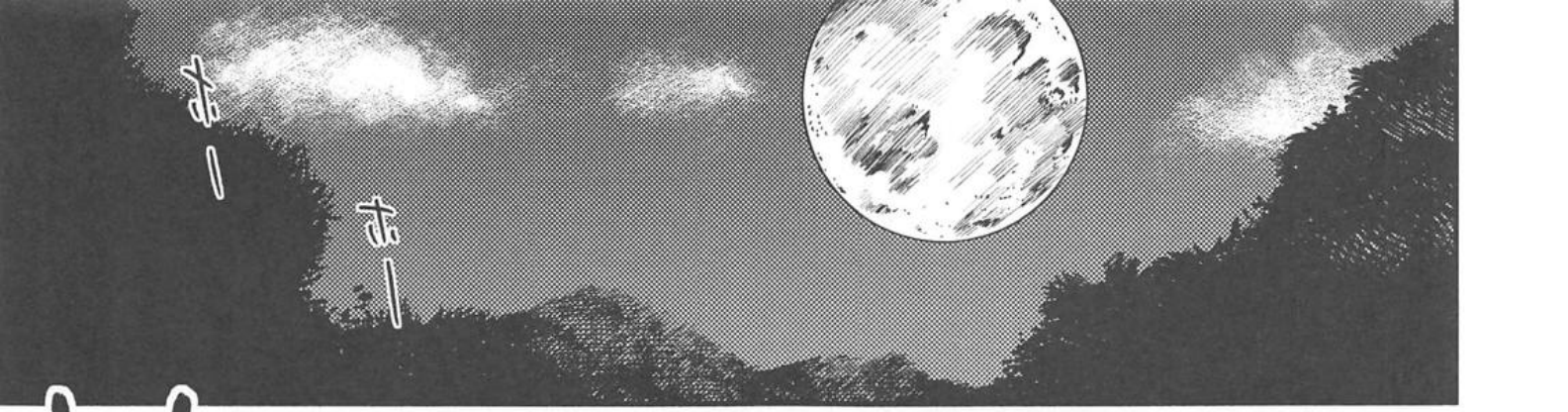


紙

執事

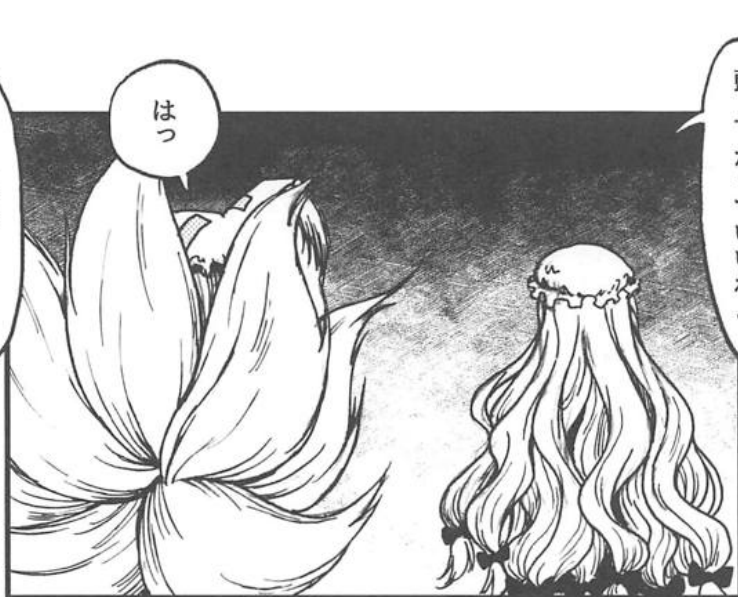
お嬢







……紫様  
借越ながら  
申し上げますが



はっ

藍  
下がっていいわよ



紫様がひとりの人間の庵に  
通い詰めている事…  
神々や妖怪の間でも  
既に噂されております

近ごろ、少々  
入れ込みすぎでは？



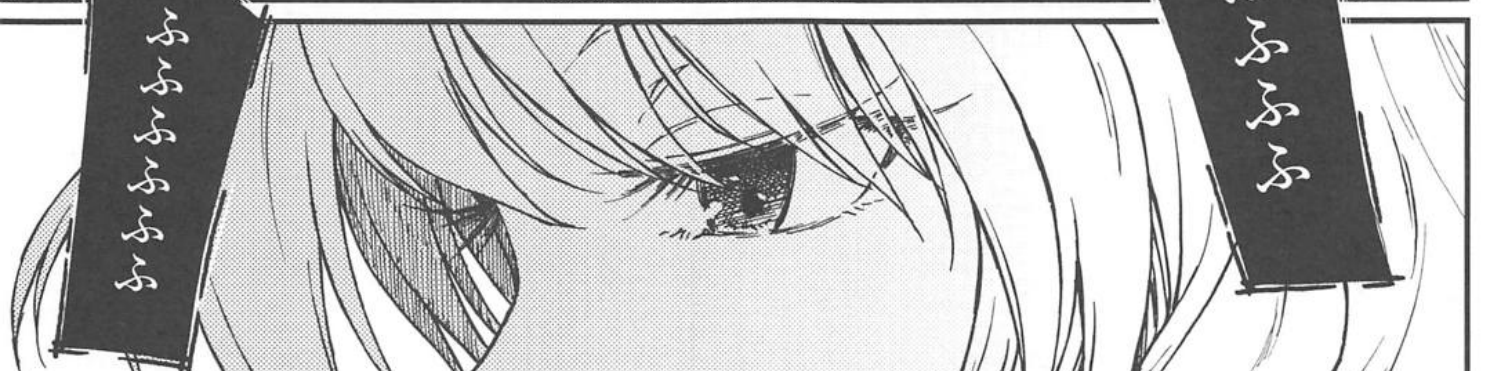
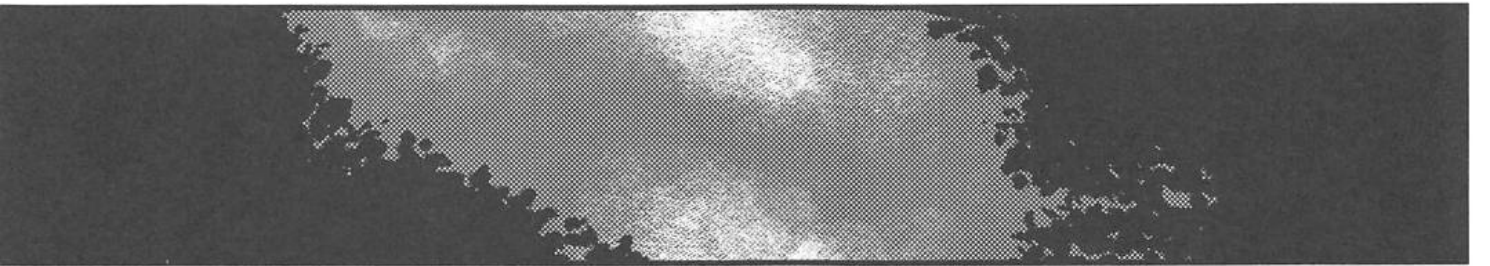
藍

それにあの男は…

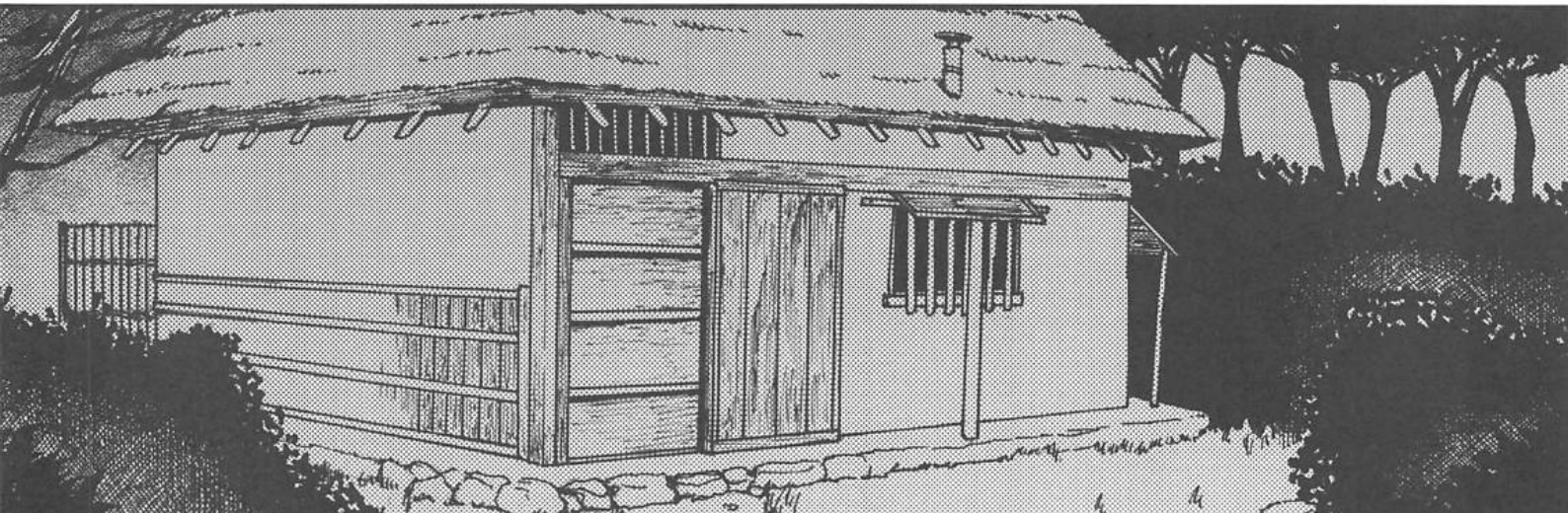
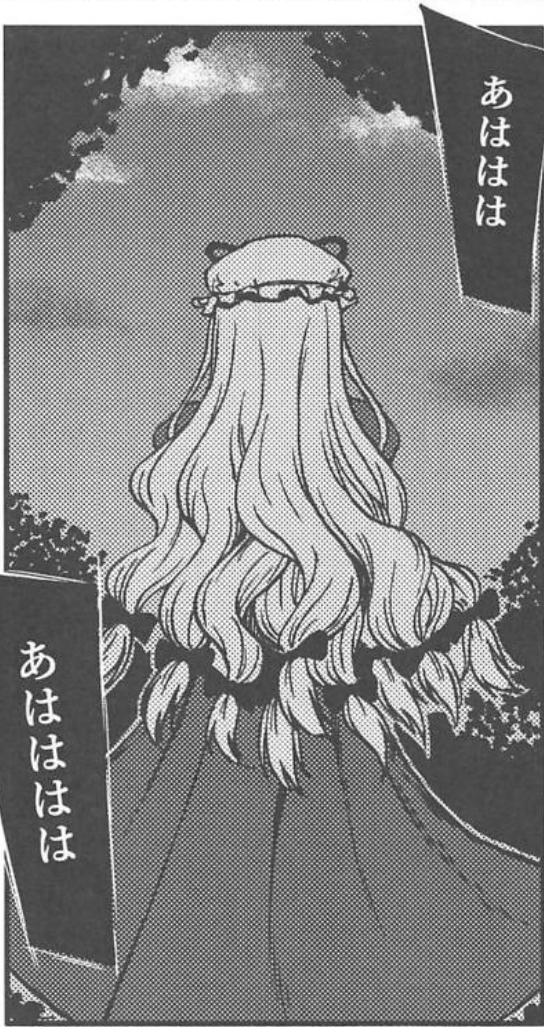
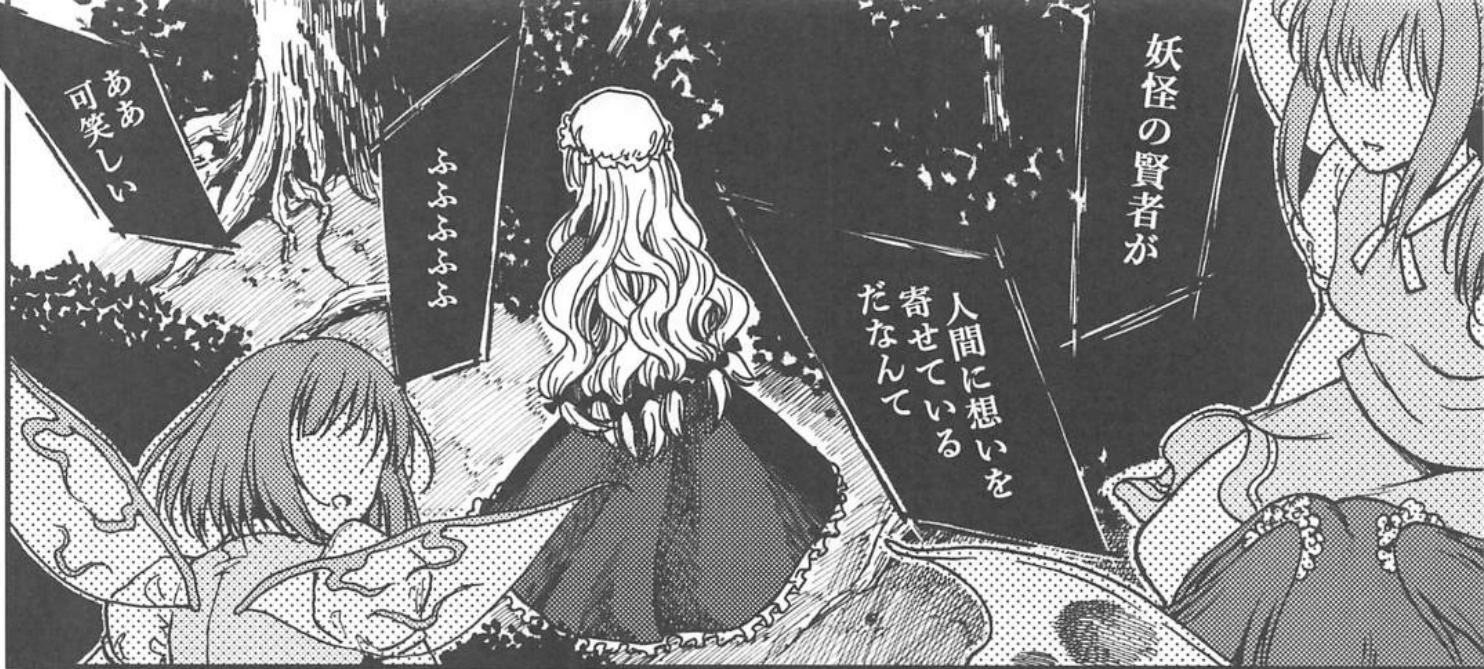


下がっていいわよ

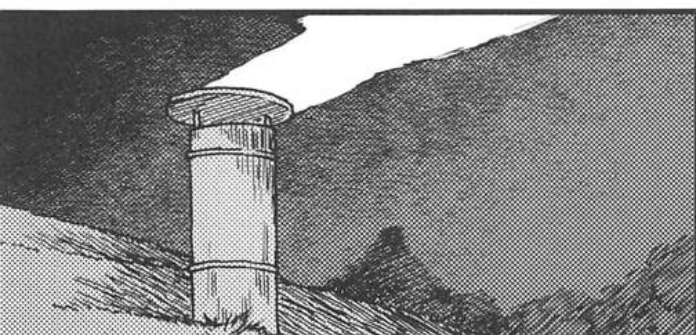
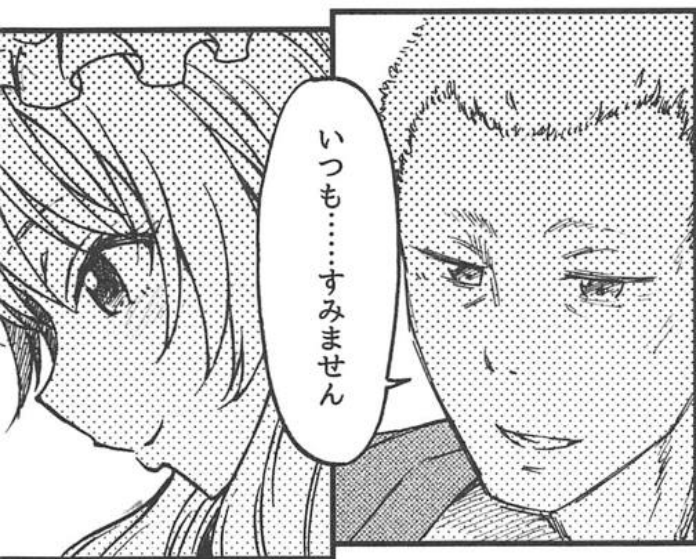




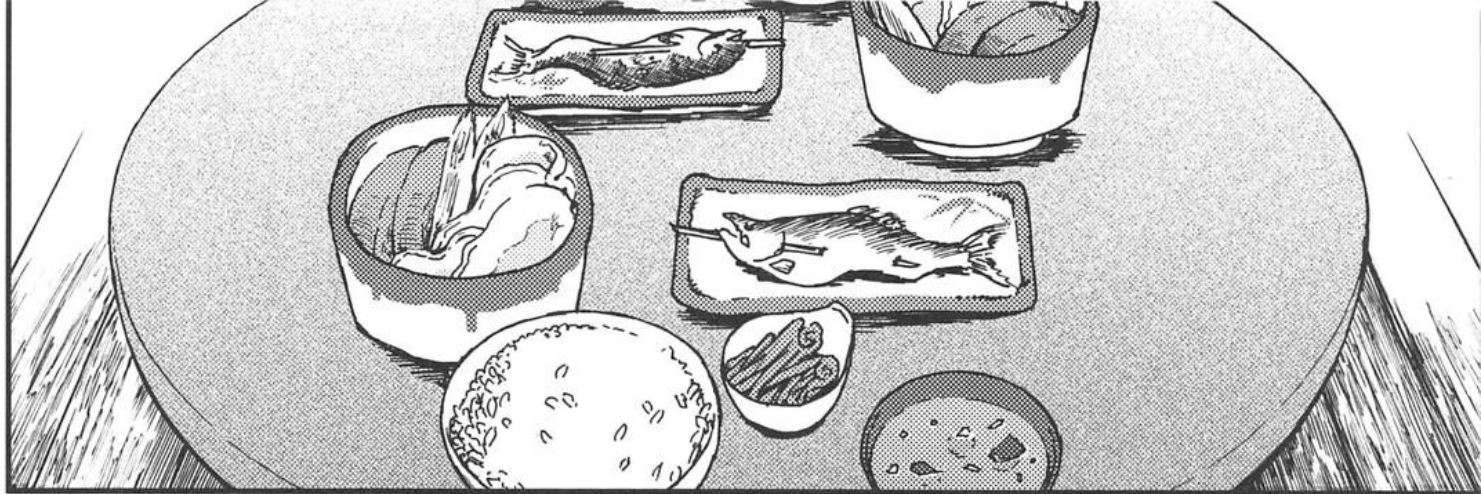












あ。

獣の肉ですか……

今朝獲れた牡丹です

貴方は血が悪いのですから肉を食べないといけません  
我が儘は駄目です

でも、美味しいです

い、頂きます

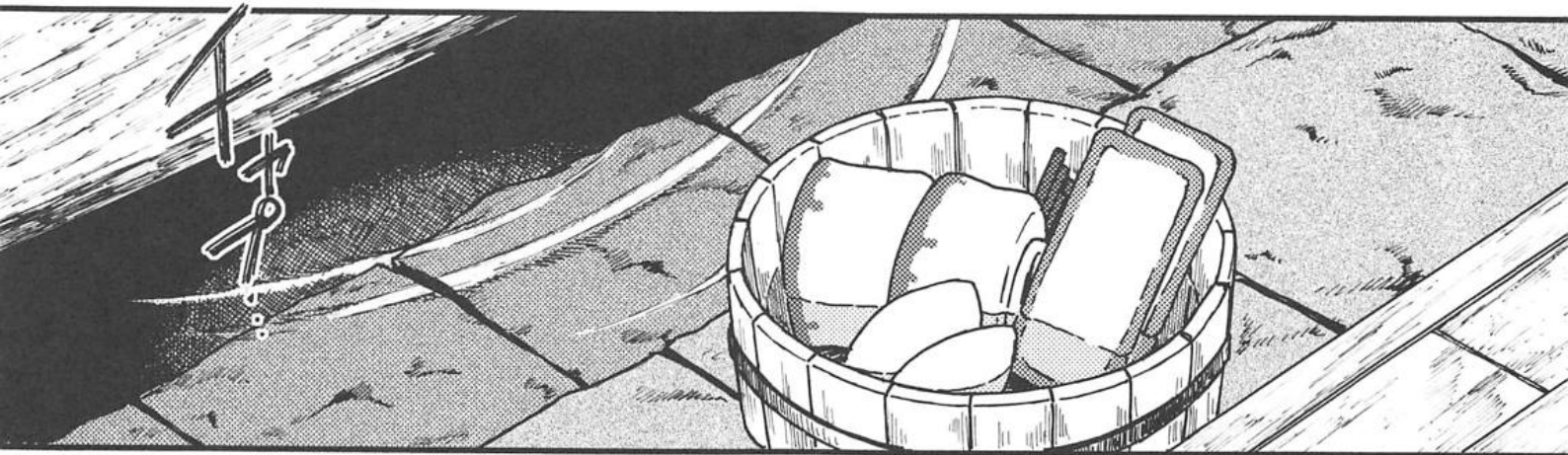
……紫さん  
コレとっても硬いです

りよ、料理は最近始めたので仕方ありません

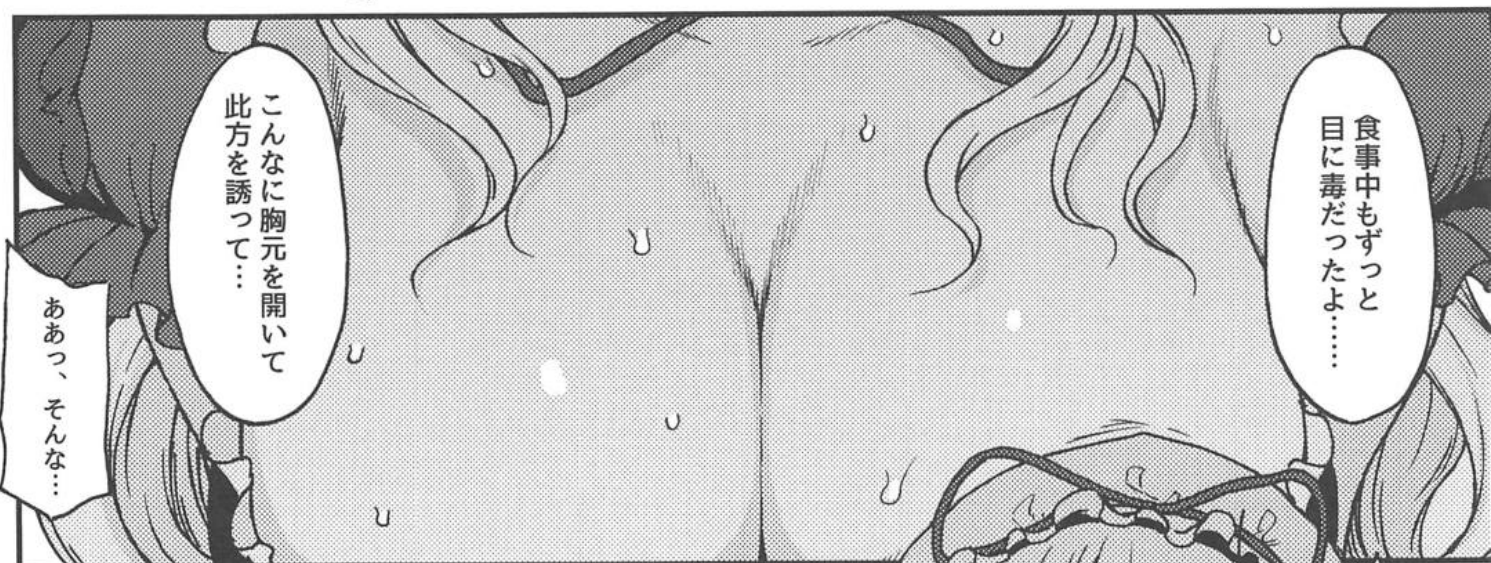
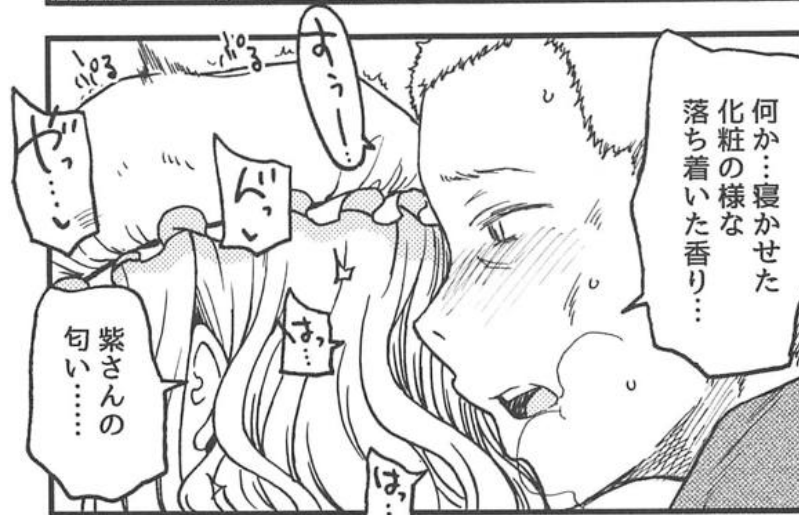
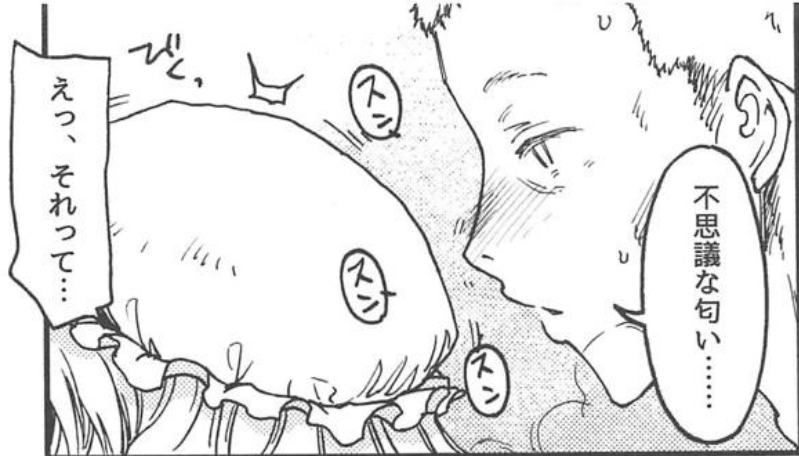
素材はいいものなので全部食べてください

ありがとう













すごいな、この乳房の弾力...

ちゃんと触ってっ...



其方も...お尻に硬いのが当たってますよ...

大きなお尻の谷間で挟まれたせいなので紫さんが悪いんですよ

...きょ...

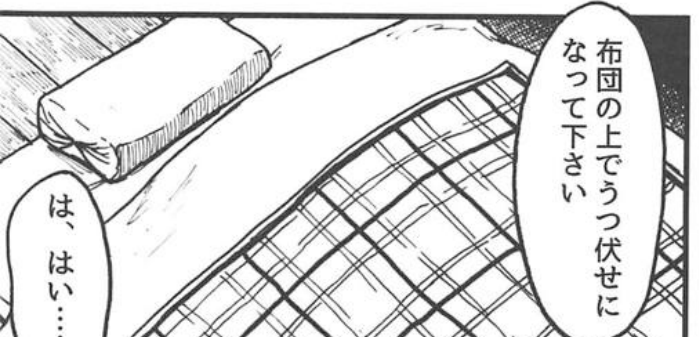


僕の細い指じゃ弾かれる



シゴかれるだけで甘い声を漏らして...

この家が人里から離れていて良かった



布団の上でうつ伏せになって下さい

は、はい...



あ、そうだ紫さんにしてあげたい事があるんです

...え?



え、えつと……  
あの……これは？

ニギキキキ

按摩ですよ

紫さんには  
いつもお世話に  
なってますから

肌が冷たいですね…

それに何か  
硬ばっている様な

それでは解して  
あげませんとね

夜はもう  
冷えますから  
気をつけないと

そ、それは緊張で…

あ

あ

い、言わないでっ……

何言ってるんですか  
とても素敵ですよ…

ああ、これは……  
重くて凝ってそうなお尻ですね







先ほど僕を嬉しそうに  
挟んでいたのは  
この谷ですね？

おや、冷えた肌と  
打って変わりこちらは  
随分温いですね

あ、貴方はまた  
そうやって私を  
からか  
抑揶ってっ……



ああ失礼、  
揉んで解さねば

手のひらに  
たつぷりと  
伝わる肉の量……



そ、そこを触って……

欲しい、です……



親指にじゅくじゅくとした  
感触がありますね……

まるで熟れた桃を  
押し潰している様な……







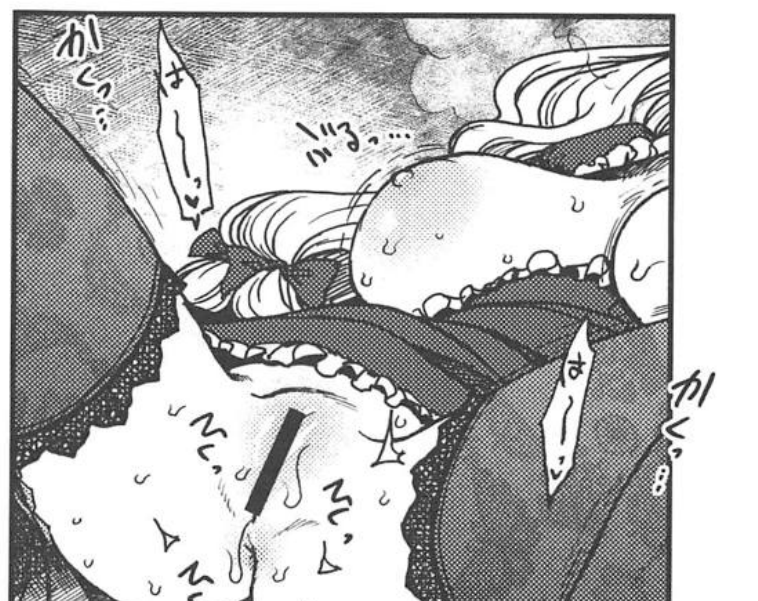
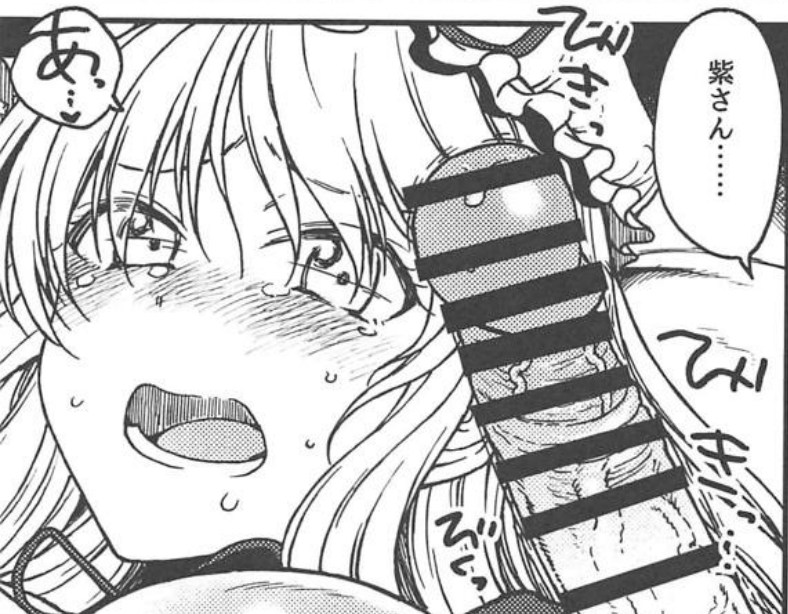
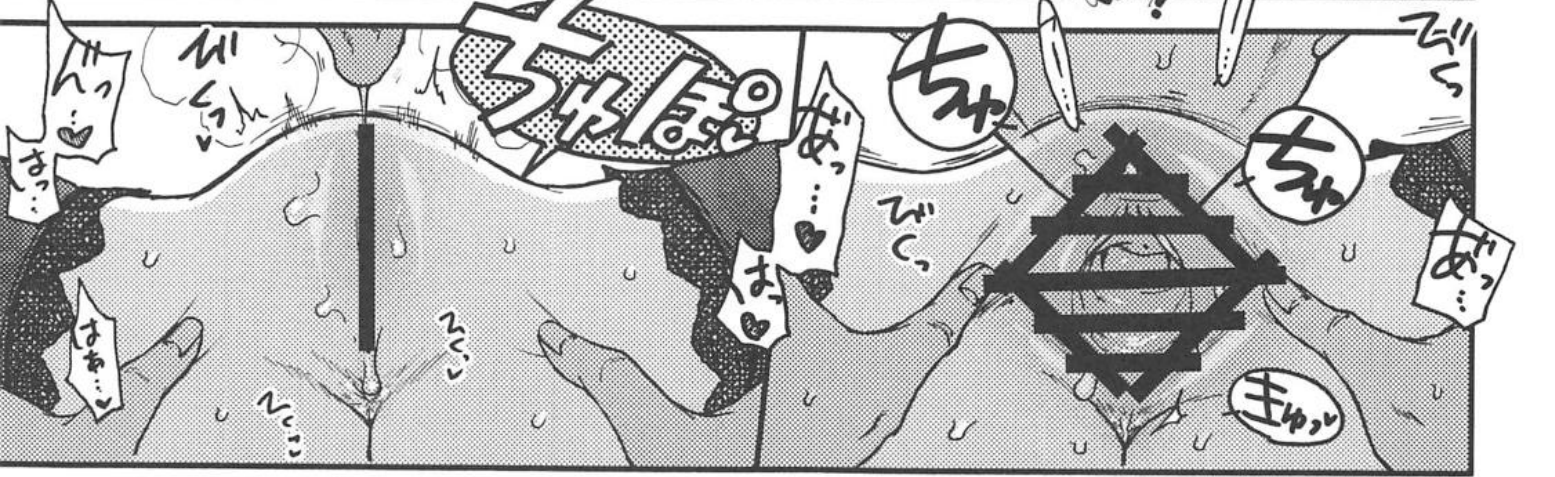
僕の指の動きに  
いちいち反応してっ……

すごい溢れ具合  
ですね…

奥からどんどんと  
湧いてきますよ……















紫さんっ…  
お尻が厭らしく  
動いちやってますよ…

僕のをしやぶって  
そんなに嬉しそうに…



ふふっ……  
さて次は貴方が  
横になる番ですわ

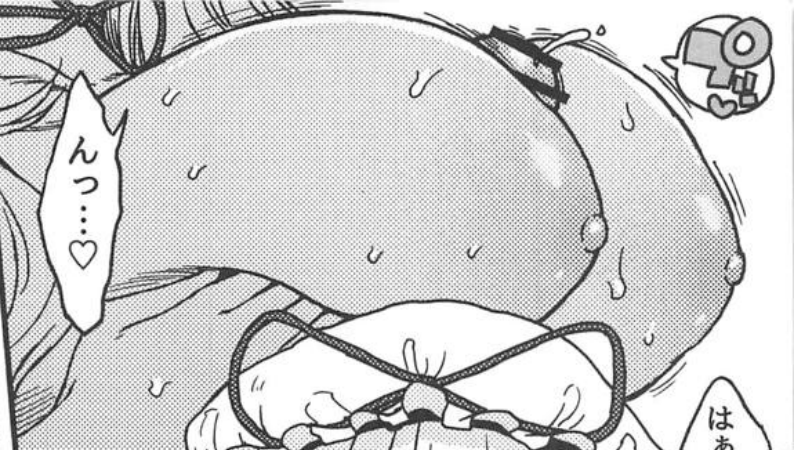


先ほどのお礼を  
してあげませんと……

どちらがお世話を  
される側なのか

しっかり  
教えて差し上げます♡





んっ…♡



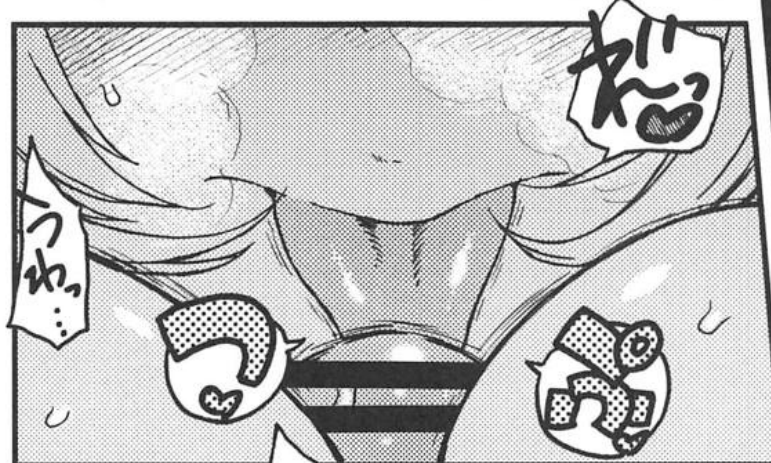
はぁあっ…♡ 熱くて谷間が焦げてしまいそう

気持ち…いいですか？



もっともっとと気持ちよくなつて…

全部♡ 吐き出してんださっ…



かっ♡

っ♡…

はっ♡…



私に…貴方の全てぶつけて♡

あぁっ！ 駄目ですそこっ…

い、いきまっすっ 射精ますっ

あっ…









早く挿れっ……



ああっ……いやあっ♡

こ、これ以上焦らさないでっ♡



…軽く果てました？

聞かない、で…♡



あーっ♡





ああっ、紫さんの膣内っ…  
褻がヌルヌルでっ

入り口で僕の  
根元を締め付けて…

肉棒に絡みついてるっ



なんて欲深い  
女陰なんだっ!!



っ…大丈夫  
ですか!?



……っ、いやあ  
興奮して息が喉に  
引っかかっただけです

感じてる紫さんっ  
可愛いですよっ…





いえ、あまり無理をなさらずにっ……

♡♡♡

すいませんっ……

お世話は私の役目ですからっ……♡



まだこんなにつ♡固く反り返って……

喉が乾いたな

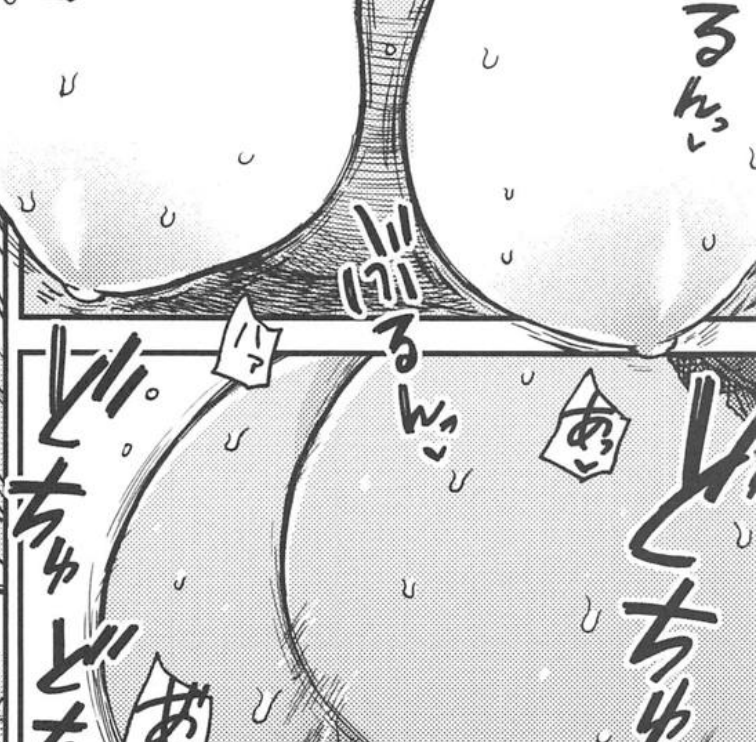
ああ、でも貴方の此処はっ……



こんな時にっ……♡悪戯をっ……♡

貴方は♡

ふふ♡







はあ、元気出た

そのまま後ろ向きになってもらえるかい？

え？



おぼ

あ♡



美味しいですか？♡

うん



あつ、

これ……

すごくっ……んっ♡  
恥ずかしいん  
ですけど……♡



桃色に染まった  
肛門も助平に  
咲いてますよ♪

全部丸見え  
ですからね……



紫さんの  
まあるいお尻を  
堪能できますっ……

あつこれはすごい



紫さんっ…<sup>なか</sup>膣内が  
どろどろですよっ…

こうやって  
打ち付ける度にっ

奥からどンドン  
溢れてくるっ…

ポポポ

カッパカッパ

あああっ…紫っ…さんっ…!!  
僕もっ…もう限界ですっ

気持ちよかったら  
我慢せずに吠えて下さいっ







はっ、はいっ...  
来てくださいっ♡

私をつ♡  
この淫らな体をつ!!

貴方でいっばいに  
してくださいっ!!!



紫さんっ...  
イキます!!

射精ますっ  
このまま膣内につ  
全部っ.....





あああああ♡

アッ

アッ

あ♡

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

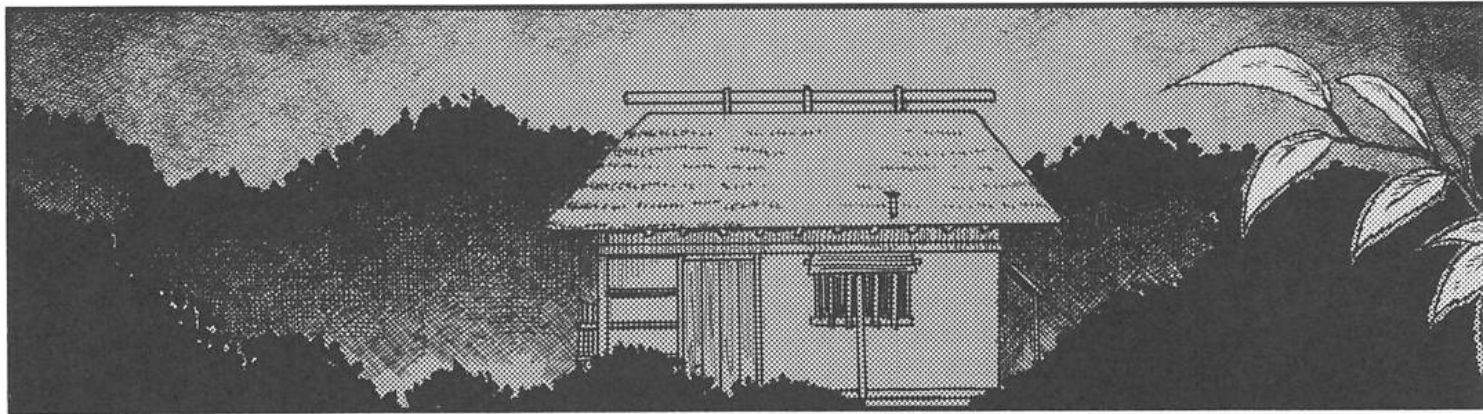
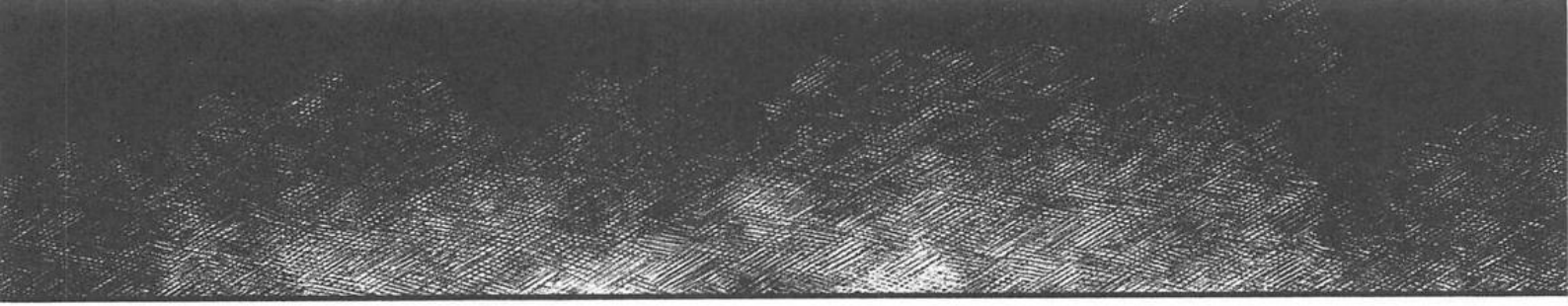
アッ

アッ

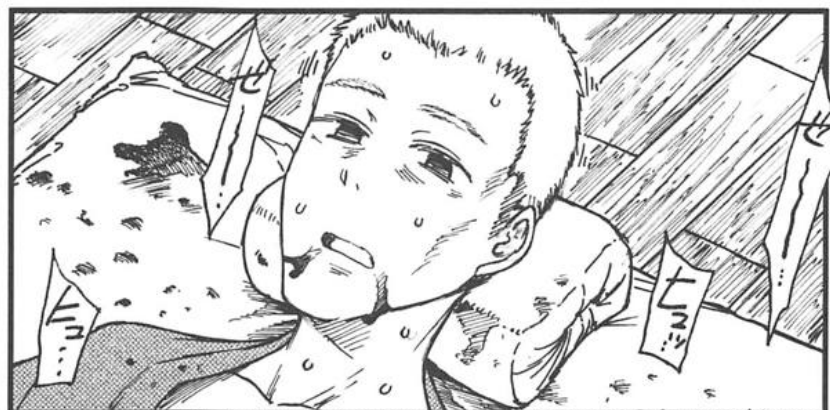
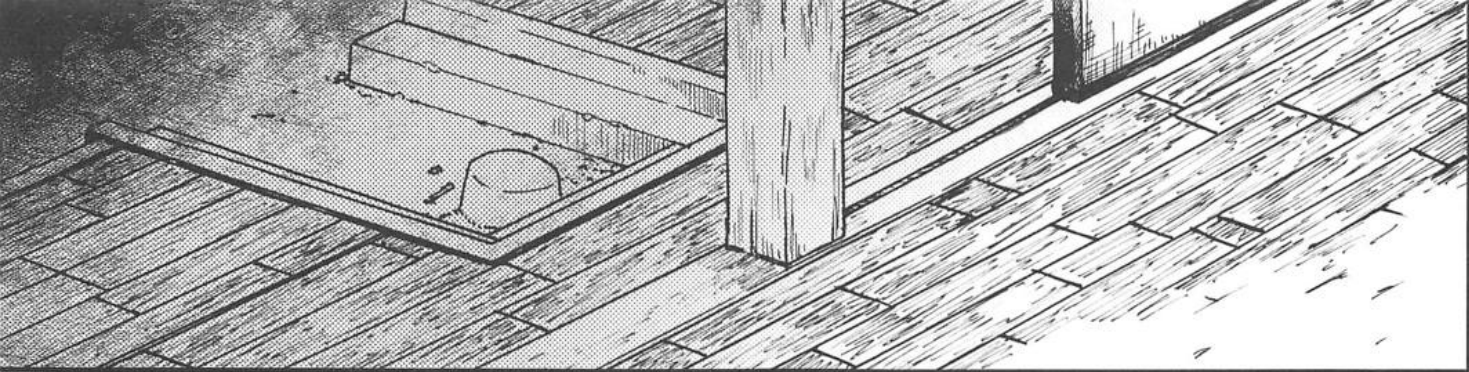




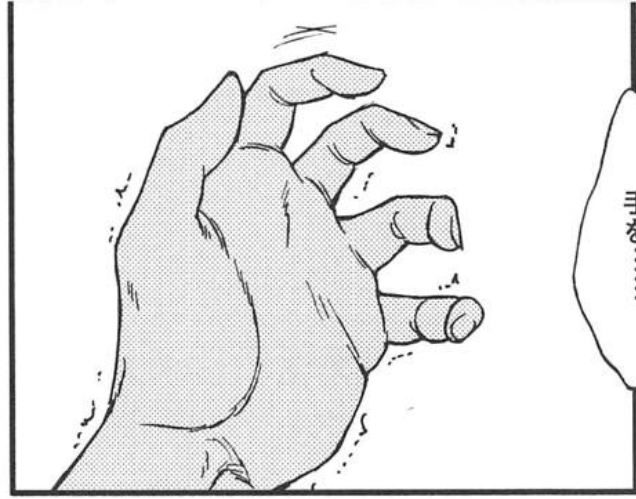




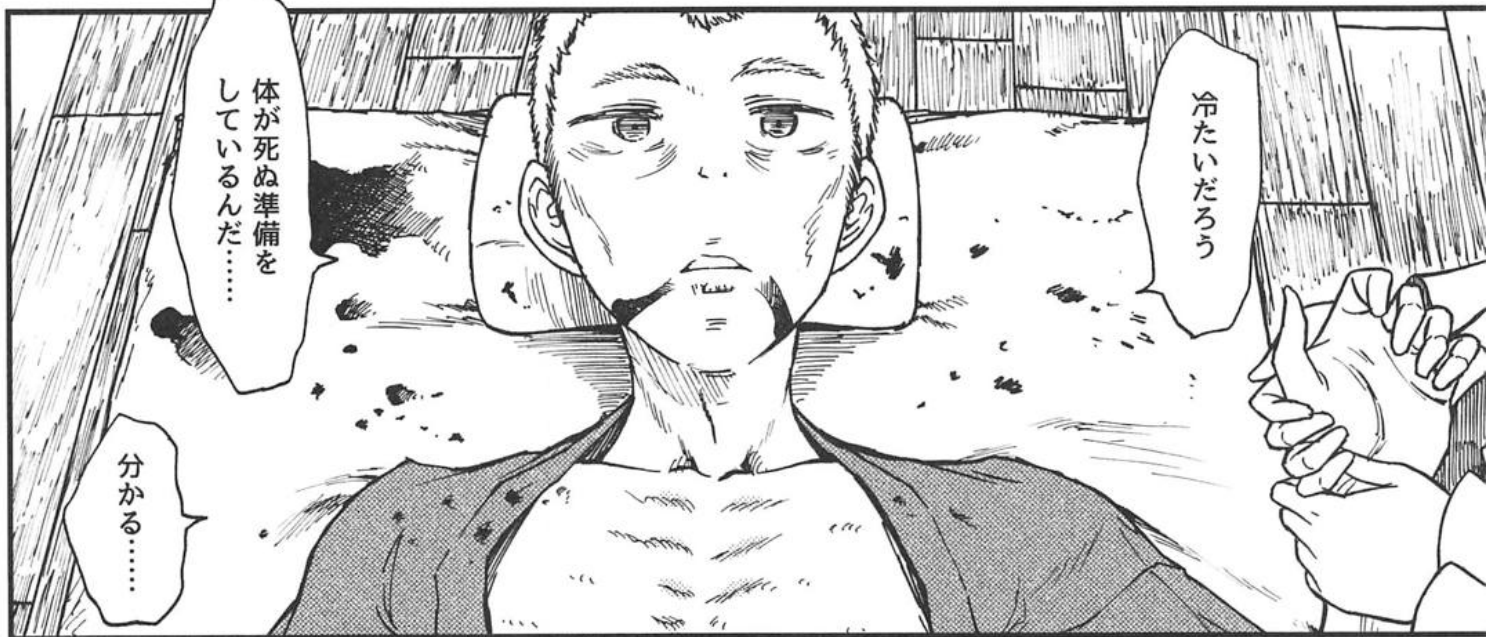








手を……



体が死ぬ準備を  
しているんだ……

冷たいだろう

分かる……



それももう、終わりだ



身寄りもなく  
治す金も無い……

そんな僕に君は……  
尽くしてくれた……

知らないふりを  
していれば享受して  
いられると思ってい

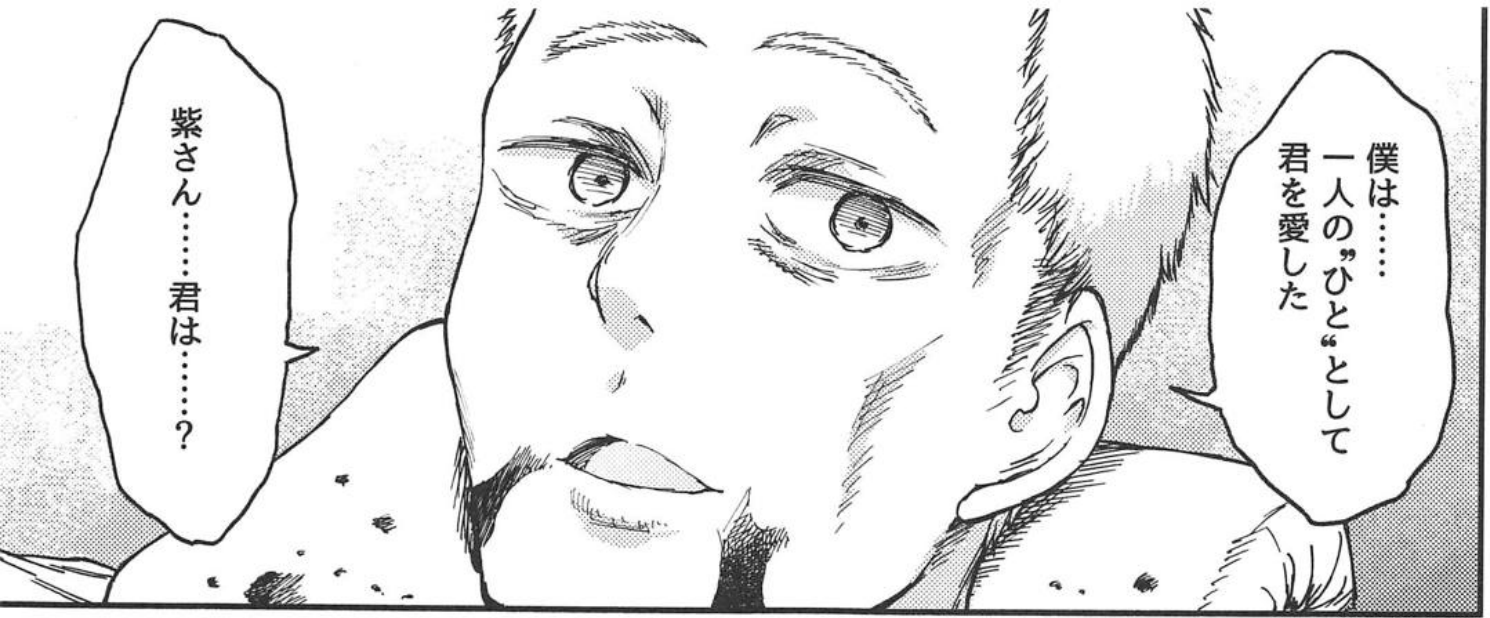


そば  
傍に……

ハッ

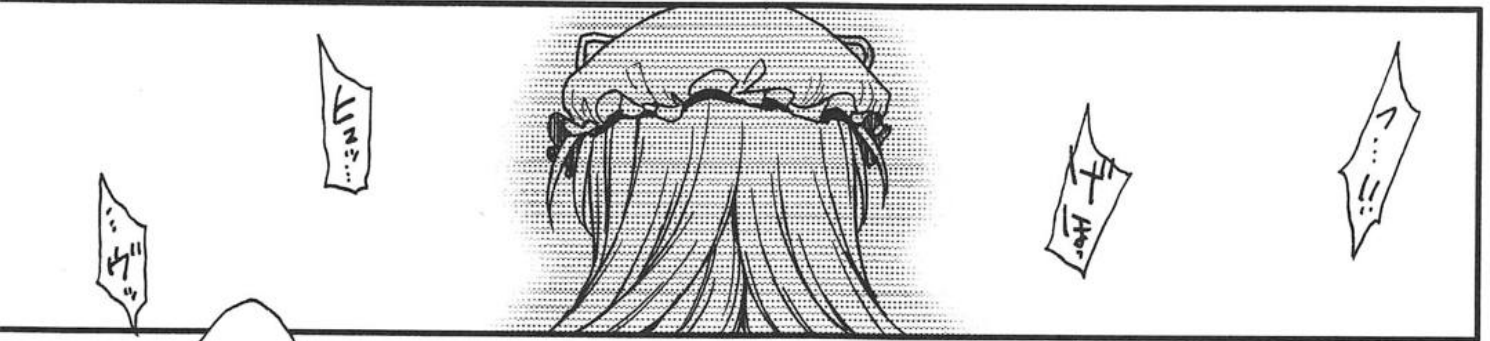
フ……





紫さん……君は……？

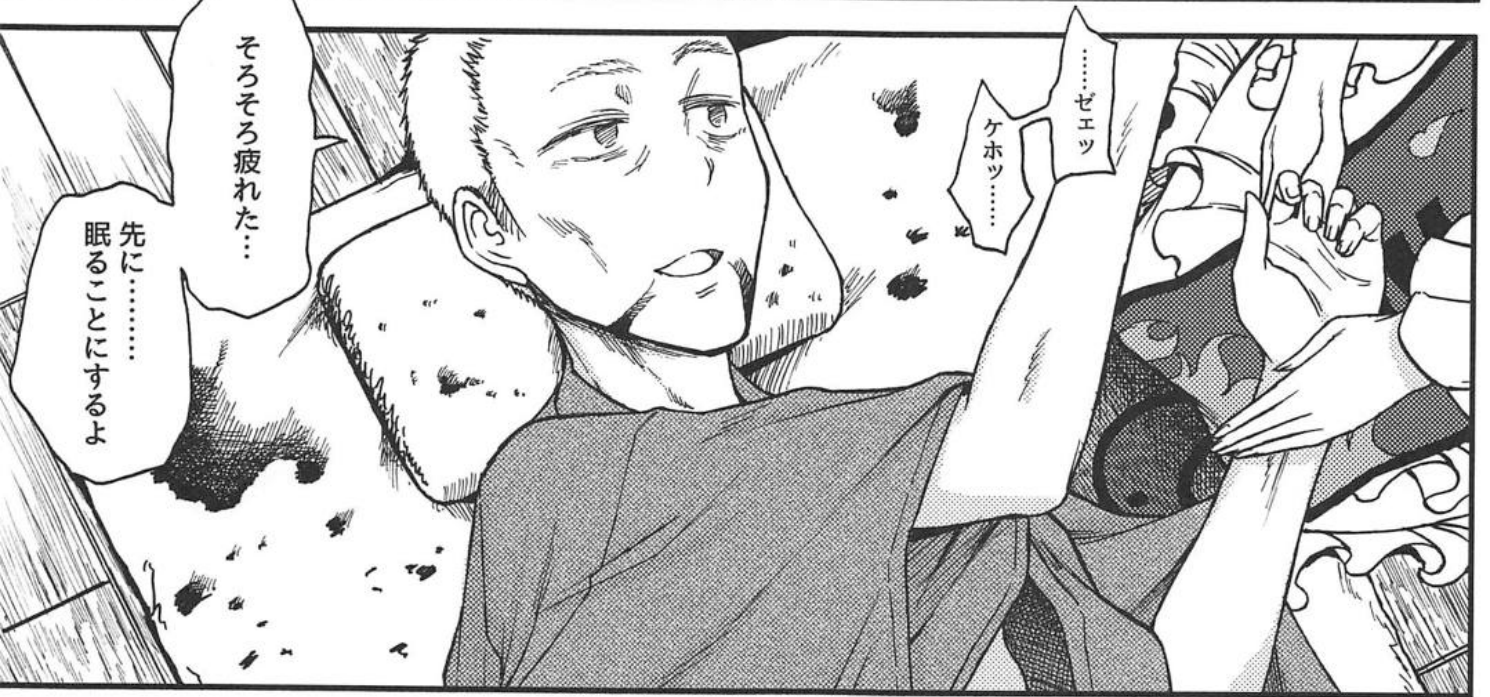
僕は……  
一人の“ひと”として  
君を愛した



ク……

フ……

フ……



そろそろ疲れた……

……ゼエツ

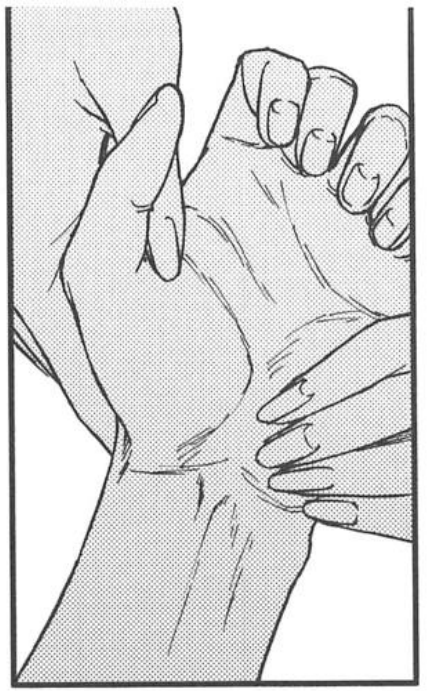
ケホツ……

先に……  
眠ることにするよ

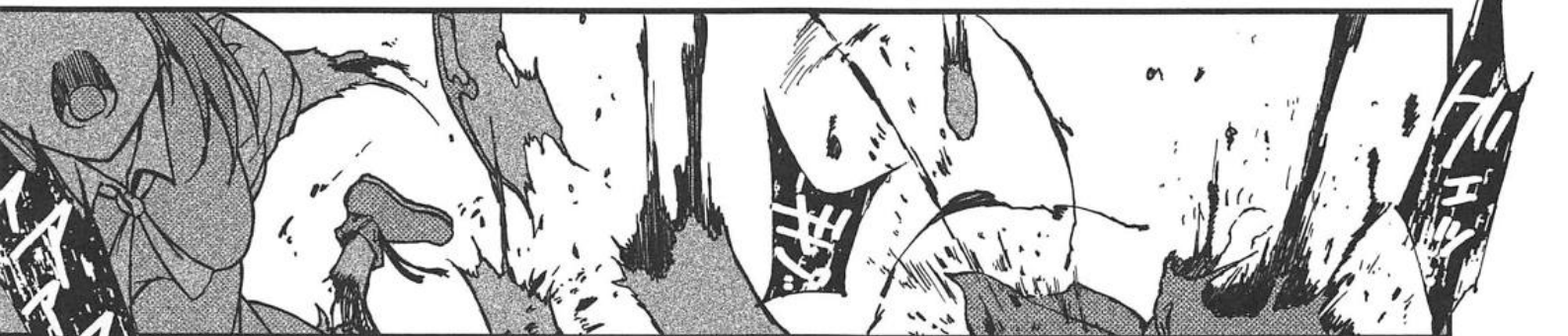


今までありがとう

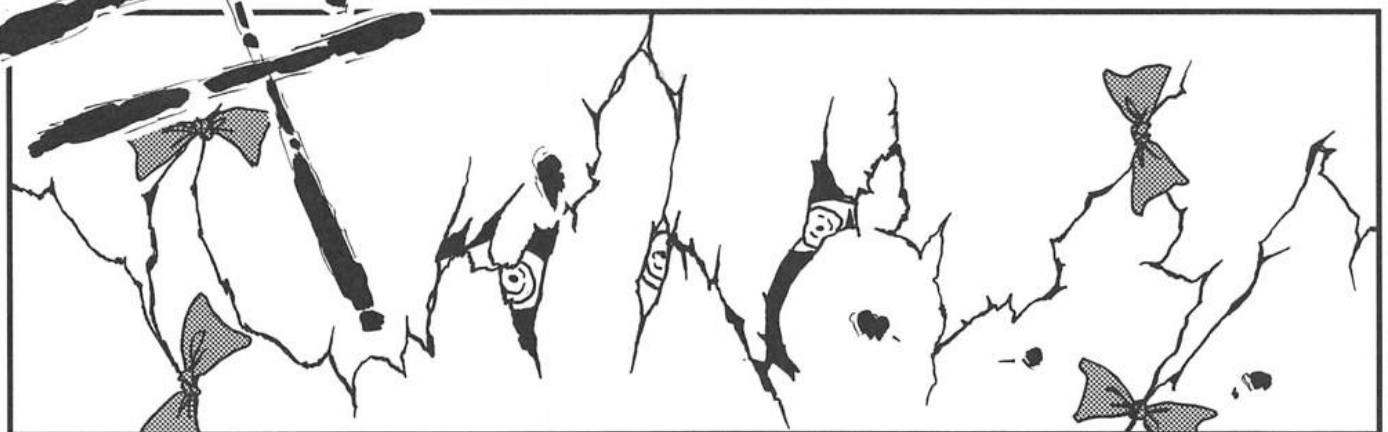




















「おとぎ話と何の音と聞えんば！  
夜中に一人で何をしておるのじゃ？」

「手慰みなど...  
我に任せはみんか？」

「ん？」

「あ、ごう...  
ごめんなさい」

「あ...  
あ...」

「なんじゃ、もう  
吐きだしやう...」

「お、お願いします」

「あ、もう...  
あ、もう...」

「まだ硬い故  
続けるぞ？」

「あ...  
あ...」

「あ...  
あ...」

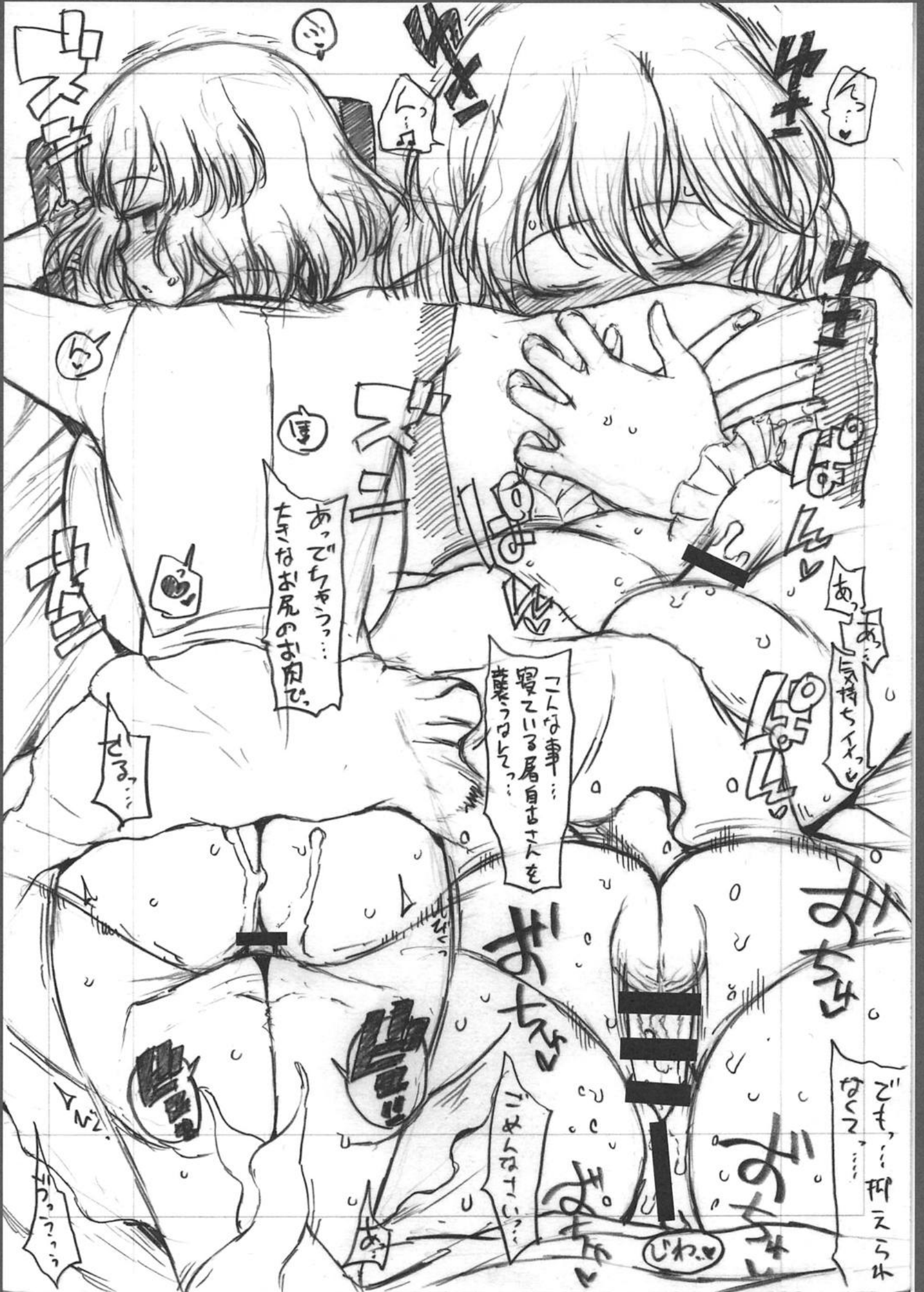
「あ...  
あ...」

「あ...  
あ...」

「あ...  
あ...」

「あ...  
あ...」





生

生



ほ

あ、で、ち、や、う、...  
た、ま、お、尻、の、お、肉、で、

あ、あ、あ、  
「お、持、ち、ま、え、」

「こ、の、お、手、...  
寝、こ、い、る、肩、自、ら、を、  
押、さ、さ、さ、さ、...」

「う、ん...」

お、ま、を、

お、ま、を、

ご、も、...、押、え、ら、れ、  
な、さ、さ、...、

「お、ま、を、...」

じ、わ、...

お、ま、を、

お、ま、を、

お、ま、を、

「う、ん...」

どうですか？  
もう幻想郷には  
慣れましたか？

はい！

まさか一編に  
お風呂に入る事に  
なるもんか...

本当に？

え？

少しは道敷とリンネの  
何たるかは理解できている  
から

オウ...

つれづれ

こうして裸で  
目の前に立てても...

本当に何とも  
ないのですか？

ところで君の今後の  
予定ですか？

すっぴんキッスは  
お断り...

あ、いえ...  
なとでも...

おや...

どうしました？

ハハ...

ア...







胎<sup>た</sup>に射<sup>は</sup>精<sup>しやう</sup>して  
しまいましたね...

後<sup>のち</sup>先<sup>ま</sup>考<sup>が</sup>えす  
子<sup>こ</sup>を孕<sup>はら</sup>んたから  
どうするのです...?

マ...マ...マ...

あまあああ...

クワッ

クワッ

カチカチ  
ジュウジュウ  
ゴクゴク  
クワッ



番号！ いち！ ……ヨシ！さんいす。  
今回から上下二段での後書きをお送りしま  
す。縦に長いな、と思っていたので。まあ  
どうせ誰も見てないんだけど…

十一年ぶりの東方本でした。いやーまさ  
かこんなに永く漫画を描く事になるとは思  
わなかった。エス書店の発足と同時に絵を  
描き始めたので、もう十五年は漫画サーク  
ル活動やってるんですね。エス書店は意外  
と古参。絵と芸風が昭和。うるせえ！

その絵と漫画を描き始めて3年目で上白  
沢慧音4年目でレミリアを描いたんですね。  
その時に東方の世界観は魅力的だったんで  
すが、二次創作において「なんで慧音が巨  
乳なの？」とかそういう流行りに対して何  
かこう斜に構えて納得できないまま消化不  
良になって描かなくなっただけで…上手  
く楽しみ方を編み出せなかったんですね。  
オチンチンも小さいですし。なんだと？

だけど、まあ：例のアレと親和性の高い  
ボイスドラマにハマリ、そこからスチーム  
で東方をプレイできることを知り、十年ぶ  
りに新作の天空璋をやってハマリ…と、  
まあ見事に東方がまた好きになりました。

普段はアイマス同人を作ってる、そちら  
を知ってる人なら分かると思うんですが、  
とても華々しいアイドルの二次創作とは思  
えない冴えない日常、芸能界の裏側みたい  
なのを妄想したものが多く、それは自分な  
りに面白さを優先した結果ではあるので

すが、なんだか仄暗い薄闇みたいな芸風な  
んですね。

で、東方も二次創作の潮流みたいなもの  
を気にせず受け入れ、なおかつ原作の設定  
を頂戴しつつ「しかし果たして全てがそう  
であろうか」という目線を忘れずに創ると  
したら誰が一番おもしろいか、ということ  
で真っ先に思い浮かんだのが八雲紫でした。

妖怪で唯一の賢者であり(たしか)、幻  
想郷の管理人でもある彼女も多分に漏れず  
長命であり、それが人間の男に恋をしたら  
絶対幸せになれないよな…と考え、そして  
その恋の相手が甲斐甲斐しく世話をやきた  
くなってしまうような病人であつたら…  
幻想郷の管理人として、その男の定めであ  
る死に対して配慮する事も出来るわけがな  
くただそばに居てあげる事しか出来ない…  
…みたいな。お前の漫画重いんだよ！

まあそんな感じで超久々の東方本、ここ  
数年のウチの作風と相まって暗くベトベト  
したモノになりましたが、自分の中ではス  
ムーズに「これが俺の東方じやい！」と気  
持ちよく上梓するコトが出来たかな？と思  
います。そしてこれが俺の金玉。グヨグヨ  
動いとるねえ。しけてんにえ！

さて次はその東方に再度ハマったきつ  
かけの東方神霊廟本です。ぶっちゃけまだハ  
ードノーコンティニューでクリアしてない  
んですが、原稿やりつつ打破したいと思  
います。

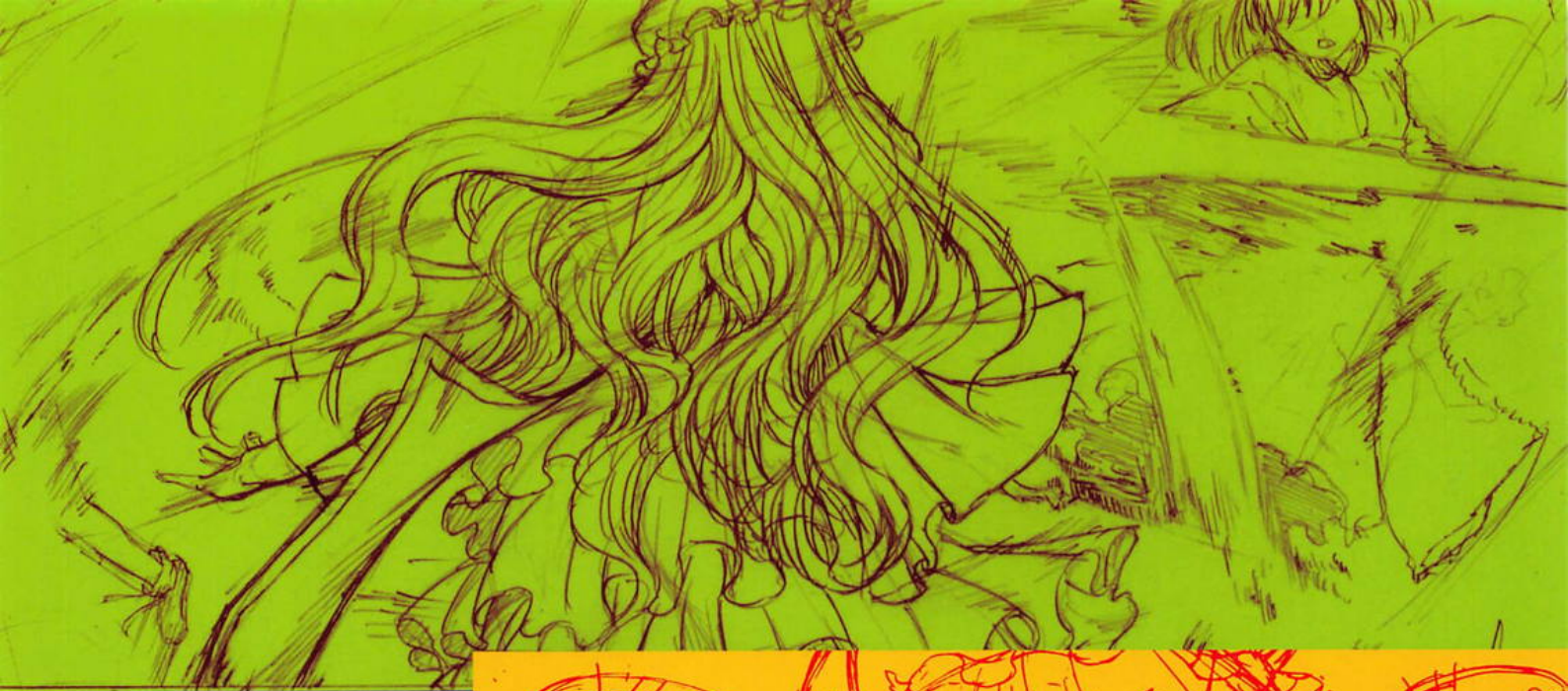
へば、まづ。

発行 : エス書店 (<http://3e.x0.to>) 発行人 : さんい (3e)  
連絡先 : [tokyosexdestruct@infoseek.jp](mailto:tokyosexdestruct@infoseek.jp)  
発行日 : 2020年03月22日 静岡例大祭

印刷所 : 上野印刷様  
未成年の購読・閲覧を禁止しております。







エヌ書店

